ARTISTS PROFILE

遊打@SOUL

日本の伝統が楽器「和太鼓」を中心に内海いっこう、夕田敏博により結成された和太鼓ユニット「遊打@SOUL」（ユーダットソウル）伝統的な演奏から現代音楽としての和太鼓アンサンブル、篠笛や津軽三味線、尺八、琴など邦楽器との楽曲を製作し演奏。また、洋楽器や世界の民俗楽器とのセッションや民舞、舞踊、ダンス、書道、古武道、居合、声明、花火師など、幅広い分野でのコラボレーションを展開。全身全霊で力強く打ち込む和太鼓と打楽器として、また音楽としての和太鼓を融合させ世界を舞台に活躍している。

内海いっこう（うつみ）｜和太鼓

兵庫県出身。
和太鼓奏者として数多くのアーティストと共演。ダンス、舞踊、和・洋楽器とのコラボレーションなど演奏スタイルは様々な分野におよぶ。全国各地でコンサート、ライブを行っている。クリエイトな部分では太鼓チームや各種学校への指導・楽曲提供もおこなっている。現在プロデュースにも力を注ぎ、2006年[J－WAC]ジャパン和太鼓アーツ倶楽部を設立、代表を務め和太鼓教室の開催、舞台、イベントなどの企画・制作活動を行っている。
2000年韓国で開催された『ソウルドラムフェスティバル2000』には日本代表として参加。'01年、ショー・コスギプロデュース「Ninjas from Hollywood ジャパンツアー2001」。'04年、「日本和太鼓フェスティバル2004」、'06年～'09年、'11年「東京国際和太鼓コンテスト」大太鼓部門出場、('09年、入賞)。'14年、「平城京天平祭」奈良。'15年、ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism 京セラドーム4days。'16年、ドイツツアー7都市10公演（遊打@SOUL）'17年、独日協会フランクフルト・フランクフルト日本法人会新年会（ドイツ）、JAPAN TAG(ドイツ)など。

夕田 敏博（ゆうた としひろ）｜和太鼓、パーカッション

1974年生。大阪府出身。
高校時代より、打楽器をはじめ若干19歳で関西を拠点とし活動するプロ和太鼓集団舞太鼓あすか組に参加する。あすか組在籍時も異彩を放ち、ソリストとなった現在も伝統的な和太鼓をベースにしつつ、現代音楽における和太鼓の可能性や、パーカッシヴな奏法にも対応した創造的な演奏方法の確立に取り組んでいる。
力強さだけを追い求めるのではなく、太鼓自身が持つ響きを重視した演奏は多くの音楽家からも定評がある。もんたよしのりスーパーバンド（TV）、渡辺香津美　東原力也　清水興ジョイントコンサート、『ナイキ・サッカーワールドツアー/ブラジル代表対全日本戦』オープニング出演、五木ひろし35周年記念コンサート、ショー・コスギプロデュース『THE NINJAS FROM HOLLYWOOD JAPAN TOUR 2001』、松井誠、五木ひろし芸能生活40周年記念、海外では台湾、マレーシア・シンガポール、インド37th International Film Festival of India Goa（2006）、フランス・ルクセンブルク5都市7公演（2008）、フランス・ドイツ7都市8公演（2010）、JAPAN EXPO Sud'10、FIFA ワールドカップ関連イベント(南アフリカヨハネスブルク)、ヨーロッパツアー(2011)（フランス・ドイツ・チェコ共和国・アイルランド17都市19公演）、ART ROCK 2011(フランス)、FIFA 女子ワールドカップイベント2011(ドイツ)、ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism 京セラドーム4days。'16年、ドイツツアー7都市10公演（遊打@SOUL）'17年、独日協会フランクフルト・フランクフルト日本法人会新年会（ドイツ）、JAPAN TAG(ドイツ)。

出口 煌玲（でぐち こうれい）｜龍笛、篠笛

幼少より奈良春日・南都楽所にて古典雅楽を学び、その一員として各地で演奏する。
雅楽演奏家と異分野の演奏家からなるコラボレーションユニット「音楽舎 まほら」、横笛の魅力に焦点を当てたカルテット「煌玲ユニット」をはじめ、様々なユニットを主宰。
ソリストや音楽監督としてもヨーロッパやアジア各国で、世界の伝統音楽・現代音楽・演劇・舞踏などと、あらゆる分野で国境を超えたコラボレーションや創作活動を行っている。
春日山原始林にて自然環境音と共に笛の独奏を収録した「森靈kodama」チェロ・ピアノとのトリオ『Silence Image~彩雲』オリジナル曲「唐子」「たそがれ」等を納めた「煌玲KHOREY」播磨陰陽師祝詞とのコラボレーションアルバム『音魂言霊』、その他、様々なコンセプトのCDアルバムやiTunesでリリース。
多くのアーティスト達のCDアルバムや映像音楽、ゲーム音楽等などのレコーディングにも参加。作曲家としては　USEN邦楽アンサンブルチャンネルの作編曲を担当する他、映像、舞台作品などに多くの楽曲を提供。

森 拓磨（もり たくま）｜キーボード

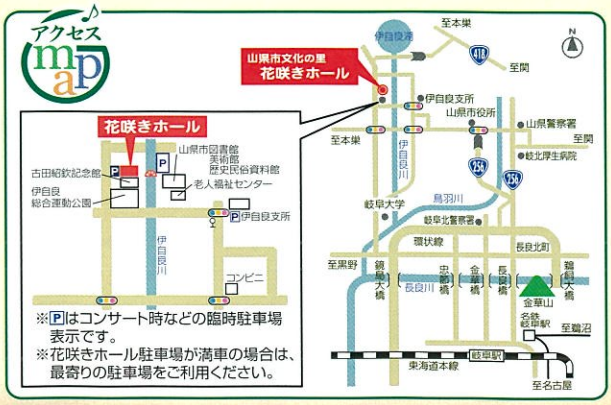
4歳からギターを弾く父の影響で音楽を演奏することに興味を持ち、鍵盤を学び始める。
小中高等学校と吹奏楽部に入り、トランペット、トロンボーン、ホルンを学びさまざまな大会に出場。大学時代より本格的にバンド活動を始め、ハードロック、ポップス、フュージョン系の曲を書き始める。
名古屋コミュニケーションアート専門学校講師（NCA）
名古屋スクールオブミュージック講師（NSM）
色彩交流学協会クルール色彩音楽家
ゴールドボイストレーニング株式会社専属作編曲家
CUE MUSIC Lab.講師
日本ナレーション研究所講師
多数のアーティストの楽曲制作、アレンジ、バンドのツアー等の演奏を中心に、和洋関係なく、オリジナル企画でコラボセッション活動している。
（2015年より時空間SESSIONを企画プロデュースする）

後藤 ゆり子（ごとう）｜マリンバ

マリンバ奏者。3才よりピアノ、5才よりマリンバを始める。同志社女子大学音楽科卒業。同大学専修課程終了。在学中第10回日本管打楽器コンクールにて第3位受賞。篤志家奨学金を受ける。マリンバの可能性を追求し、落語、口笛、バンジョー、三味線、演歌など、ジャンルを超えて様々なコラボレーションで演奏。全国各地で公演を行う。オーケストラ、吹奏楽団のソリストとして、コンチェルト作品の演奏を重ねる。作曲、編曲も手がけ数々の作品を発表、望月則彦氏演出によるバレエ作品「心中手綱島」に起用された。
また「夢と希望と笑い！」のあるコンサート作りを目指し、工夫を凝らしたマリンバアンサンブル 'MAR'（ま～る）の音楽鑑賞会は、各学校からの絶大な信頼を得る。
一方、後藤ゆり子ミュージックランドを主宰、子どもたちの豊かな感性を育みたい、との思いで地元に密着した後進の育成に取り組む。
CDアルバム「クワイエット・グリーン」「MAR TONE」「embrace」の3枚をリリース。現在、大阪府立夕陽丘高校、相愛学園高校音楽科非常勤講師。慈光保育園音楽講師。

笛木 良彦（ふえき よしひこ）｜和太鼓

幼少の頃より和楽器に慣れ親しみ、2001年和太鼓邦楽演奏集団「打歓人（だかんと）」の旗揚げに参加。プロ和太鼓奏者としての活動を始める。2006年、同団体を離れ本格的にソロ活動をスタート。
2011年より和楽器で構成された音楽集団 邦楽プロジェクトユニット「あらまほ」を主宰。自身が演出、出演の「伝統と創造ツアー」を2014年から各地にて開催。和楽器演奏と国の伝統的工芸品 有松絞りを舞台美術に取り入れ話題となる。
和太鼓奏者として「和太鼓スーパーユニット侍（さぶらい）」「遊打@SOUL（ゆうだっとそうる）」など多くの邦楽ユニットに参加。またプリンセス天功、五木ひろし、谷村新司、武田双雲など、様々な分野のミュージシャンやエンターテイナーとのコラボレーションも成功させる。
一方海外ではアメリカ、カナダ、韓国、インド、カンボジア等での公演を成功させ、2015年イタリア、トリノにて名古屋市代表アーティストとして公演を行い、世界最大級のメタルフェスティバルWacken Open Air2016（Germany）に出場。
2016年より刈谷市総合文化センターのレジデンスアーティストに任命され、地域と共に音楽、舞台芸術を広める活動をしている。



お問い合わせ

山県市 文化の里 花咲きホール

山県市洞田127番地135
TEL.0581-36-2323 FAX.0581-36-2777
Mail hanasaki@city.gifu-yamagata.lg.jp